

山行報告書

山行管理部

例会山行 飯盛山 2月28日

L 阪上・友田(桂)、石野(明)、福永参加者 57名 (うち一般 12名)
JR野崎駅 9:40 → 野崎観音 9:50~10:10 →
飯盛山 11:15~11:25 → 権現の滝 12:15~13: →
室池園地 13:30 → 森の工作館 13:45~13:55 →
四条畷神社 14:40~14:55 → JR四条畷駅 15:10
春を思わせる好天、5月には野崎参りで賑わう野崎観音を出発して中世の城跡飯盛山へ。楠正行の像のある本丸跡を経て 権現の滝では テーブルセッティングして和気あいあいの昼食タイム室池では北へ帰りそびれた? ヨシガモを発見蟹ヶ坂コースを通過して四条畷神社でクールダウンをして解散。(石野明子 記)

自然保護 苔寺・桂坂野鳥園・洛西の竹林を歩く

3月6日 L山田(仁) 参加13名
上桂(9:20) → 苔寺(10:00) → 唐櫃越(10:30) → 野鳥園(12:00 昼食)
浄住寺(14:20) → 上桂(14:45 解散)

白梅に紅梅・サンシュユ・マンサク、ヤブ椿など早春の花をめでながら、洛西の山麓ゆっくりと歩くことが出来ました。「野鳥園」ではラッキーにも、カワセミとオシドリにお出まし頂きました。また、竹林内に去年造られました「野外音楽堂」や山麓の浄住寺にも立寄りました。降水確率 50%の予想でしたが幸い解散までは何とか持ちこたえてくれました。(山田<仁> 記)

ウィークデー 三上山(近江富士 432m)

3月17日(木) L八木・森下 参加9名
JR野洲駅 10:20 → 御神神社 → 表参道登山口 11:00 → 妙見堂跡 11:35 →
三上山 12:00 (昼食) 12:25 → 東屋 13:25 → 森林公園 13:55 → 西ゲートバス停 14:25
(バス) ⇒ JR野洲駅 14:40 (解散)

三上山は昔から近江富士とも呼ばれ、本当に惚れ惚れする美しい姿の山である。登山口からいきなりの急登、途中割れ目のある狭い岩の間を通り過ぎるスリルも楽しみながら、岩また岩の道を登ってゆくと頂上到着。頂上直下の展望台からは、近江平野、琵琶湖、まだ雪を冠った比良山系が真っ白に輝いて、美しい姿を見せてく

れました。時間が余ったので、草津駅途中下車。江戸時代の草津宿の史跡見学、雰
囲気を楽しんだ。(八木 記)

ターブル 金勝アルプス 3月20日 L 堺・安田 参加27名

JR 新快速近江塩津行き 7:30 大阪駅発＝草津 8:21 着・帝産バス 9:00 発＝上桐
生 9:30 着 (説明・体操) 登山口発 9:45→落ガ滝 10:16→鶏冠山 11:25→
昼食 12:15～12:45→天狗岩 13:10→白石峰 13:50→竜王山 14:06→白石峰 14:
30→磨崖仏 14:52→上桐生 16:07 着＝草津 16:55 (解散)

歩き始めは少し曇っていましたが、すぐに日差しが出てきました。鶏冠山、天狗
岩、竜王山とちょっと欲張りすぎかなとも思ったのですが、下山後ほぼ予定通りの
バスに乗ることが出来ました。最初是一个の班で歩き出したのですが、岩場ではど
うしても後ろまで目が届かないということで鶏冠山に登る前に二つの班に分けま
した。最後まで2班で行動しましたが、このことはよかったです。岩場、ロ
ープ、渡渉、それに様々な巨岩、奇岩を見ながら緊張もしましたが、バラエティー
に富んだコースを楽しみ、天狗岩からの素晴らしい展望、また竜王山の登りでは梅
花おうれんも見ることができました。(堺 記)

教育部 伯耆大山 3月20～21日 L 高桑・木村 参加6名

旧大阪中央郵便局前 12:00 ⇒ 大山寺 16:30 (駐車場泊)
大山寺 5:45 出発→(夏山ルート) → 弥山 10:40 →雪上訓練(1時間) →
大山寺 14:30 ⇒ 大阪 19:00

明るいうちに大山寺に着き見上げると頂上は雲に隠れているもののその山容の
雄大さには改めて畏敬の念を感じる山だが想像以上に雪がないのに少しがっかり
する。そして、私の天候予測では快晴のつもりが夜半にはテントに雨音が忍び寄り
『なんで?』と明日の山行に不安を感じるもしゃぶしゃぶで腹ごしらえをして4時
起床に備え9時には就寝。翌朝はなんと雪が舞い車も白く薄化粧の中、テント撤収
を含めて2時間足らずで出発。これも年末からの訓練の成果とを感じる。夏山登山道
は前日に見た雪の無い大山と思いきや道は踏み固められた雪が残り、標高1,000m
辺りでアイゼン装着。6合目からは風も強く体温調整に気遣う。山頂に着いた頃
よりガスは晴れ、雄大な稜線を眺めることができ全員歓声を上げる。下山途中では
今回の主目的の滑落停止訓練もでき、同訓練が初めてのメンバーも真剣に反復練習
に励む。帰阪時間を踏まえて、温泉の立ち寄りも割愛して無事19時には大阪に着
いた。(高桑 記)

例会山行 醍醐寺～醍醐山～高塚山 3月27日(日)

L 佐内・元・堀野・古澤 参加者 51名 (うち一般2名)

大阪駅 8:00⇒山科⇒9:01 醍醐・・・醍醐寺・・・女人堂 9:50・・・10:55

横峰峠・・・醍醐山・・・11:20 開山堂(昼食) 12:30・・・横峰峠・・・13:00

分岐・・・13:15 高塚山・・・行者の森・・・14:20 橘大学・・・15:10 柳辻(解)

醍醐寺の境内で早咲きの桜を見ながら女人堂へ、女人堂(有料)を迂回して90分の登りで上醍醐(開山堂)に到着、宇治方面を眺めながら昼食、高塚山を経て地下鉄柳辻駅で解散。午後の雨予報も上手く外れて上天気の下で山行が出来たこと、天の神様に感謝! (佐内 記)

サロン 万博公園[花見] 3月28日(日) L 上枝 参加 27名

桜はちょっとだけ咲いていました。椿やユキヤナギは綺麗でした。日本庭園を一周して花のない静かなはず苑で花見(宴会)。昔話に花が咲き楽しい時間を過ごし、その後、上枝家でも懐かしい方達の話題になりました。私を含めサロン仲間が卒業します。卒業組から宇野さんありがとう。(上枝 記)

有志山行 山門水源の森 4月6日(水) L 定井(喜) 参加 9名

森ノ宮 7:30→山門着 9:50～途中写真→11:00 トクワカソウ群落写真～守護岩 11:45 昼食 12:10 下山→13:45 駐車場着…大阪へ

2台の自家用車に9人が分乗し、時期限定の「トクワカソウ」見学に行った。途中の道路はさくら、山はタムシバで覆われ楽しい車中だった。山門では、「イワナシ」「タムシバ」「シサイスミレ」「ユキバタ椿」「スミレサイシン」「トクワカソウ」「しろもじ」「くろもじ」「猩々バカマ」「いかりそう」「バйкаオーレン」等々、メインのトクワカソウ群落は散策道の横の斜面に咲いており写真撮影に苦慮したが花の色の違いや幹の違い等観察することも出来楽しい山行だった。(定井(喜) 記)

土曜山行 白倉岳 4月9日(土) L 原・吉田 参加 12名

京阪,京橋駅 6:47 発 ～ 出町柳駅 7:34 着/京都バス 7:45 発 ～ 桑野橋 8:55 着

桑野橋登山口 9:20 →鷹ガ峰 →烏帽子岳 →白倉岳 13:55 →中岳 →

南岳 →東尾根分岐 →栃生登山口 →栃生口バス停 16:30 (解散)

好天に恵まれてのスタート、桑野橋登山口からのコースは登山者も少なく道も荒

れていました、鷹ガ峰から稜線に出るとしっかりした踏み跡もありあちこちに咲いているタムシバの花をみながらルンルン気分で歩き、又、中岳では大杉木にいっぱいパワーをもらい東尾根の1時間強の急な下りは神経を使いました。全員無事に下山できました。 (原記)

自然保護部 熊野古道 小雲取越・果無峠 4月9日・10日

L 阪上・石野(明) 参加22名

9日 森ノ宮(7:00) $\xRightarrow{\text{バス}}$ (11:00)小和瀬(昼食)(11:30) → 桜茶屋跡(13:05)
→ 桜峠(13:55) → 石堂茶屋跡(14:20) → 百間ぐら(15:00)
→ 万才峠(15:45) → 請川(16:55) $\xRightarrow{\text{バス}}$ 宿舎(17:40)

10日 宿舎(8:20) $\xRightarrow{\text{バス}}$ 果無峠登山口(8:45) → 果無集落(9:25)
→ 観音堂(11:05) → (12:00)果無峠(昼食)(12:35) → 七色分岐(14:00)
→ 八木尾バス停(15:00) $\xRightarrow{\text{バス}}$ 森ノ宮(19:00)

今回の熊野古道は2日間とも雨もなく春まっただ中、全員で歩き通せたことが何よりよかったです。

自然の神々が棲む熊野の聖地、語り部ガイドと読んだ歌碑と、果無越では西国3ヶ所の石仏観音に励まされしっかり歩くことができた。古道のすばらしさを実感できたのではないのでしょうか。(石野明子 記)

有志山行 箕面山～五月山(例会下見) 4月17日 L三嶋・松本(光) 参加5名

阪急梅田駅(8:10発) ⇒ 石橋駅(8:28発) ⇒ 箕面駅(8:35発)～ 瀧安寺(9:00)
～ 箕面大滝(9:50) ～ 大日駐車場(10:10) ～ 唐人戻岩 ～ 箕面山(11:30～12:00)
～ 三国岳～ようらく台園地(12:45) ～ 五月公園市民の森(駐車場)(14:00)
～ 阪急池田駅(15:30)

朝から降ったり止んだりの空模様。例会担当者4名に飛入り参加のKさんを加え、計5名で箕面駅を出発。瀧安寺で井村さんの墓参りを終え、ここでの参加者確認・体操等を決める。地獄谷入り口からは車道を離れて歩き、箕面滝から大日駐車場へ回る。駐車場から200m程先を左折し、百年橋から天上ヶ岳へ登る計画であったが、百年橋に着いたところでその先の登山道が落石の為、通行できないことを知る。ここでこのコースを断念し、次に大日橋から箕面山への道を検討したが、これも道路崩落の為か大日橋自体が通行止めとなっていた。結局戻岩橋まで引返し、唐人戻岩の先から箕面山

を登ることとした。急登が続き、本日一番の踏ん張り所。箕面山頂そばで昼食を取り、ようやく台園地に向う。車道とぶつかったところに民間の霊園があり、この場からの眺めは最高。天候もこの頃には殆ど回復し、貫けるような青空。左手から五月山の電波塔、六甲山系、中山・大峰山、右手に能勢方面・・・と展望が一気に広がる。ここから二つのゴルフ場を左手に見て、ひたすら車道を下る。車の数自体は少ないが、終盤でもあり隊列が横に広がらないよう本番では注意したい。また五月山公園には何本かの下りのコースがあり、できるだけ緩やかな「自然とのふれあいコース」を本番では選択したい。解散は五月山動物園近くの広場と決める。ここから池田駅前までは一直線。全員参加の反省会（於：Uさん宅）では手作り料理を肴に、心ゆくまで反省する。

（三嶋 記）